静岡新聞で学ぼう

Newspaper in Education

静岡新聞

2021年 9月30日朝刊東部版

記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

がん治療と仕事 両立支援の課題

事業主など対象セミナー

県立静岡がんセンターと静岡労働局などは29日、事業主や人事担当者、医療従事者を対象にした「がん治療と仕事の両立支援オンラインセミナー」を開催し、沼津市のプラサヴェルデから動画投稿サイトユーチューブを通じて配信した。

臨床医の立場から両立支援の課題を説明する高橋医師（左）＝沼津市のプラサヴェルデ

静岡がんセンター呼吸器内科部長の高橋利明医師は臨床医の立場から講演した。患者との情報共有の重要性を挙げ、「薬物療法と仕事を両立するには、医療者として副作用を軽くするアプローチが必要」と指摘した。

アールエイチ産業医事務所の足立留美子医師は事業者と患者、主治医をつなぐ産業医の役割を解説し、「治療と仕事の両立には本人の意志が大切だが『両立支援』そのものの認知度が低い。相談体制の周知をお願いしたい」と課題を挙げた。

このほか、徳三運輸倉庫の辺見有太総務部課長は企業の立場から従業員対応に関する心構えを説明。静岡産業保健総合支援センターの保健師奥柿智子さんも登壇した。約90人が視聴した。

（東部総局・菊地真生）

①医療者と患者との情報共有は、具体的にどのようにすれば推進されるか、医療者の立場と患者の立場からそれぞれ考察せよ。

[　　]

②本記事は「がん治療」と「仕事」の両立支援の課題に関するセミナーであったが、「がん治療」と「高校生の教育」を両立するには、どのような支援体制が必要と考えるか、考察せよ。

[　　]

③薬物療法に関しては、膨大な情報が巷に溢れている。信頼性の高い情報を取捨選択し、治療に活かしていくためにはどうすればいいのか、薬剤師・看護師・医師という自分が志望する立場から考察せよ。

[　　]

年　　組　　名前

作問者：NIEアドバイザー　実石克巳（静岡高校　教諭）　（高校／国語）

＜参考＞①＝医学、薬学、看護学に関する問題、②＝医学、薬学、看護学に関する問題、③＝薬学、看護学、医学に関する問題